

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

「カンポット州8幼稚園園舎等整備計画」

完成式典開催

令和元年12月19日（木）、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（供与限度額86,700米ドル）により建設された幼稚園園舎等（園舎8棟、水衛生施設及び園庭）の完成式典が、カンポット州ドントン郡で開催されました。この式典には、教育・青少年・スポーツ省からハン・チュンナロン教育大臣、チェコ共和国大使館からウラジミール・テサール臨時代理大使、プラネット・エンファント&ディベロップメントからナタリー・ドゥボン現地代表、日本国大使館から三上正裕大使が出席し、それぞれ祝辞を述べました。また、カンポット州副知事を始め、州・郡教育局関係者及び約1,300人の地域住民が参列し、園舎の完成を祝福しました。

カンボジア国教育・青少年・スポーツ省は、2000年に幼児教育分野の国家政策「Early Childhood Care and Development Policy」を定め、就学前の子どもの幼児教育へのアクセス拡大を目指してきました。しかし、特に郊外地域においては園舎が不足しており、小学校から借用した教室や、幼稚園教諭の自宅の一角で幼児教育を実施している幼稚園が多く、教育の質の保証が課題となっていました。

このような課題に対応するため、本事業では、フランス系国際NGOであるプラネット・エンファント&ディベロップメントを通じて、カンポット州内2郡の8幼稚園に合計8棟10室の園舎、水衛生施設及び園庭の整備を行いました。同団体は、フランス開発庁との連携により幼児教育に取り組んでおり、今般、チェコ共和国政府及び日本国政府に新たな幼稚園の整備支援を要請しました。新しい園舎等が整備されたことにより、同8幼稚園に通う約350人の園児に対して、質の高い幼児教育が提供されることが期待されます。

式典では、プラネット・エンファント&ディベロップメント現地代表、チェコ共和国臨時代理大使のスピーチの後、三上大使がスピーチを行い、「新しい園舎が幼児教育の質を高め、同幼稚園で学ぶ子どもたちのより良い未来に貢献することを期待しています。また、新しい幼稚園施設が長きにわたって適切に維持管理され、カンボジアと日本の友好関係のシンボルになることを願います。」と述べました。

続いて、ハン・チュンナロン教育大臣から、日本政府、フランス開発庁、チェコ共和国に対する感謝の意が表されました。参列した保護者や教育関係者に対しては、幼児教育が重要であることを説くとともに、子どもを幼稚園に通わせるよう呼びかけました。最後に、来賓によるテープカット、桜の木の記念植樹、園舎の視察が行われ、式典は終了しました。



前列左から三上大使，ハン・チュンナロン教育大臣，ウラジミール・チェコ共和国臨時代理大使。



式典会場の様子。



スピーチを行う三上大使。



スピーチを行うハン・チュンナロン教育大臣。



リボンカットを行う三上大使。



完成した園舎内で団体から説明を受ける三上大使とウラジミール・チェコ臨時代理大使。